

関わりの弱さがもたらす学校でのつまずき

こだわり・転導性



物・人との関わりの弱さ



- ・言葉の遅れ
- ・対人関係の弱さ
- ・コミュニケーション能力の弱さ



- ・視点・焦点の獲得の弱さ
- ・担任の先生(人)との関わりの弱さ
- ・本(教科書)との関わりの弱さ



本を見ながら・ノートをとりながら
先生の説明を聞くことの弱さにより、
学習の理解が悪くなる



国語・算数などの学習につまずく



社会生活がスムーズに送れない

不登校や学校・家庭での問題行動を防ぐ、国語・算数などの教科学習をつまずかせないことや学校生活をスムーズに送らせるためには幼児期から小学低学年までの間、(小学校高学年でも、子どもによっては可能)「遊び」を通して人とふれあう機会を提供することが有効です。

これらの問題が起こる根本的な問題として、こだわり、転導性があります。このこだわり、転導性を抑制させることがその後の学校生活、社会生活をスムーズに送らせられます。

発達障がい児・者の就労及び自立は未だに困難な状況にあり、社会の理解と支援が不足しています。当NPO法人ではこれらの問題に対して幼児から就労までの一貫したサポート体制を確立することで、将来の就労及び自立に向けて子どもの能力を最大限伸ばすことに重点を置いています。